

- 003 推薦の言葉 | 刊行によせて / 田辺 新一
 004 はじめに | 光・温熱・気流とかたちの関係 / 脇坂 圭一
 006 目次

1 章 007 シンポジウム をとおして知る環境シミュレーションを活かした建築デザイン手法

第1回 シンポジウム	
010	レクチャーA 中川 純 / 建築環境デザインを科学する
016	レクチャーB 谷口 景一郎 / 環境シミュレーションと建築設計の横断
024	レクチャーC 盧 炫佑 / 太陽エネルギーの有効活用
028	ディスカッション 中川 純 × 谷口 景一郎 × 盧 炫佑 + 脇坂 圭一 × 天内 大樹 × 亀井 暁子
第2回 シンポジウム	
036	レクチャーA 小泉 雅生 / フィジックス・デザイン
042	レクチャーB 富樫 英介 / 設備/人間/環境
048	レクチャーC 重村 珠穂 / コンピュータ技術を利用した環境デザイン
054	ディスカッション 小泉 雅生 × 富樫 英介 × 重村 珠穂 + 脇坂 圭一 × 亀井 暁子
第3回 シンポジウム	
062	レクチャーA 秋元 孝之 / ZEB/ZEH SHIFTと環境デザイン
068	レクチャーB 川島 範久 / 環境シミュレーションを活用して「自然と繋がるDelightfulな建築」をデザインする
074	レクチャーC 清野 新 / What is “Building Physics”?
084	ディスカッション 秋元 孝之 × 川島 範久 × 清野 新 + 脇坂 圭一 × 天内 大樹

2 章 091 ケーススタディ から見た環境シミュレーションを活かした建築デザイン手法

092	環境シミュレーションを活かした設計プロセス
097	光・熱・気流 環境シミュレーションを活かした建築デザイン手法
098	事例1 住宅 下馬の住宅 / スタジオノラ + 望月 蓉平 + 加瀬 美和子
106	事例2 住宅 微気候の家 / レビ設計室
114	事例3 住宅 SHOCHIKUCHO HOUSE / 西沢立衛建築設計事務所 + Arup
122	事例4 住宅 ソトマで育てる、ソトマでつながる(B棟) / 名古屋大学脇坂圭一研究室 / ヒュッケ・デザイン・ラボ
130	事例5 住宅 一宮のノコギリ屋根 / 川島範久建築設計事務所
138	事例6 住宅 不均質な家〜201号室リノベーション / 脇坂圭一アーキテクト
144	事例7 非住宅 横浜市港南区総合庁舎 / 小泉アトリエ + Arup
152	事例8 非住宅 東急コミュニティー技術研修センターNOTIA / 清水建設 + 秋元 孝之
162	事例9 非住宅 清水建設北陸支店新社屋 / 清水建設 + アルゴリズムデザインラボ
170	事例10 非住宅 いしはらの里 / 公共設計+OMソーラー
178	事例11 非住宅 静岡理科大学建築学科棟えんつりー / 古谷 誠章 + NASCA + 田辺 新一 + 静岡理科大学コミッションチーム

- 186 環境デザインに関するブックレビュー
 188 著者略歴
 190 おわりに
 192 奥付

シンポジウムをとおして知る環境シミュレーションを活かした建築デザイン手法

本章は、シンポジウム「静岡建築茶会 | 建築環境デザインを科学する！」(浜松、袋井、静岡にて開催)における、各回3名、計9人の登壇者による講演とモデレーターを加えたディスカッションを元にしたドキュメントである。

各回では、建築家・環境・設備系研究者・設計者、企業における実務者を招聘し、建築的思想や設計手法、環境の捉え方について、それぞれのスタンスが表明された。各回のテーマとして環境要素のうち熱、気流、光を個別に掲げていたものの、実際には、空間において三つの環境要素は相互に関係し合い、それらを切り分けることが困難であり、複合的・統合的に解くべき要素であることを改めて認識することとなった。

以下に各回の登壇者およびモデレーターを挙げる。

■ 第1回シンポジウム | 浜松

レクチャー A 中川 純
 レクチャー B 谷口 景一郎
 レクチャー C 盧 炫佑 (の ひょんう)
 モデレーター 脇坂 圭一 × 天内 大樹 × 亀井 暁子

■ 第2回シンポジウム | 袋井

レクチャー A 小泉 雅生
 レクチャー B 富樫 英介
 レクチャー C 重村 珠穂
 モデレーター 脇坂 圭一 × 亀井 暁子

■ 第3回シンポジウム | 静岡

レクチャー A 秋元 孝之
 レクチャー B 川島 範久
 レクチャー C 清野 新
 モデレーター 脇坂 圭一 × 天内 大樹